

令和5年度中堅教諭等資質向上研修の手引

別冊

各種様式・記入例・作成要領

令和5年4月

山梨県総合教育センター

【目次】

1. 必修研修計画書（様式2）	1
2. 所属校における研修テーマの例	6
3. 所属校における研修計画書（様式3）	7
4. 所属校における研修報告書（様式4）	1 3
5. 評価票の作成要領	2 1
6. 評価票（様式5）	2 3
7. 対象者追加申請書（様式6）	2 8
8. 事情説明書（様式7）	3 0
9. 免許状更新講習代替申請書（様式8）	3 2
10. 必修研修免除申請書（様式9）	3 3
11. 必修研修不参加届（様式10）	3 5
12. 必修研修受講記録（様式11）	3 6
13. 所属校における研修記録（様式12）	3 7
14. 他校種間交流研修の依頼書（様式13）	3 8
15. 他校種授業参観研修会研修計画書（様式14）	3 9

年度

必修研修計画書

校種		所属校名			職員番号		担当教育 事務所等	
名簿番号		職名		氏名			専門教科	

年	月	日
校長		(公印)

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修1	1						
	2						
必修2	1						
	2						
必修3	1						
必修4	1						
	2						
	3						
必修5	1						
	代替受講	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修6							
必修7							
必修8							

所属校における研修の 実施予定年度または修了年度	年度
-----------------------------	----

年度

必修研修計画書

校種		所属校名		職員番号		担当教育 事務所等	
名簿番号		職名		氏名		専門教科	

年 月 日

校長

(公印)

分類	枝番	必修計画書の完成と提出について						完了年度
必修1	1	①前年度3月の立案・準備（提出は不要） ・新規対象者は「様式5」の評価に基づき、記入例を参考にして必修研修の受講年度の計画等立案（研修修了までの計画）する。 ・2年目以降についても、前年度末の評価に基づき、必要に応じて計画を修正する。 ②4月に対象者は管理職と相談の上、受講する必修研修を研修会WEB申込システムに入力して申し込む。 ③申し込まれた内容が反映された必修研修計画書（本紙）は5月に総合教育センターで行われる中堅研修で配付、研修を受講しない者については電子メールまたは郵送で配布される。 ④③により配布された必修研修計画書に空欄となっている必修研修がある場合は受講予定年度を手書きで記入する（産育休等の理由により空欄が生じる場合も同様）また、所属校における研修が修了していない者は、実施予定年度を手書きで記入する。 ⑤校長は確認の上、公印を押印して、6月の提出期限までに下記の通り提出する。 公立小中学校 → 所管の教育委員会へ提出 市町村（組合）教育委員会 → 総合教育センター研修指導課 県立学校 → 総合教育センター研修指導課						
	2							
必修2	1							
	2							
必修3	1							
必修4	1							
	2							
	3							
必修5	1							
	代替受講							
必修6								
必修7								
必修8								

所属校における研修の
実施予定年度または修了年度

年度

1年目に全ての研修を修了する計画の場合

校種	小	所属校名	〇〇市立〇〇小学校		職員番号	0		担当教育 事務所等	中北教育事務所
名簿番号	2300000	職名	教諭	氏名	〇〇 〇〇			専門教科	国語

年 月 日

〇〇市立〇〇小学校

校長

〇〇 〇〇

(公印)

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	校長名と年月日を記入し、 公印を押す。			年度
必修 1	1	3101	教科指導法研修会	12/27(月)	未定	山梨大		
	2	3102	地域の教育事情	未定	未定	未定		
必修 2	1	3911	コミュニケーション研修	6/1(火)	終日	総合教育センタ		
	2	3915	道徳性の涵養 I	7/26(月)	午前	都留文科大		
必修 3	1	3917	ユニバーサルデザインの利用 I	7/26(月)	午後	都留文科大		
必修 4	1	3106	中堅教諭としての連携協働	1/11(火)	午後	総合教育センタ		
	2	必修6-1, 7-1, 8-1に代替申請用の研修会を申し込んだ場合は、 この欄に○が記載されている。 この場合は「免許状更新講習代替申請書」[様式 8]を確認書類の写しを添えて提出する。 ※あらかじめ研修会WEB 申込システムでの申込みが必要。				総合教育センタ		
	3					総合教育センタ		
必修 5	1					総合教育センタ		
	代替受講	研修会番号	研修会名	(受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度	
必修 6		402	カリキュラムマネジメント	8/2(火)	終日	総合教育センタ		
必修 7	○	3907	代替研修会	—	(1.0)	—		
必修 8	○	3908	代替研修会	—	(1.0)	—		
実施する年度を手書きで 記入する（原則として社								

校長名と年月日を記入し、
公印を押す。必修6-1, 7-1, 8-1に代替申請用の研修会を申し込んだ場合は、
この欄に○が記載されている。
この場合は「免許状更新講習代替申請書」[様式8]を確認書類の写しを添えて提出する。
※あらかじめ研修会WEB申込システムでの申込みが必要。実施する年度を手書きで
記入する（原則として対象となった年度に実施）。所属校における研修の
実施予定年度または修了年度

令和5 年度

1年目に全ての研修が終わらない受講者のもの(虫食い)

校種	小	所属校名	〇〇市立〇〇小学校		職員番号	0	担当教育 事務所等	中北教育事務所
名簿番号	230001	職名	教諭	氏名	〇〇 〇〇		専門教科	国語

年 月 日

〇〇市立〇〇小学校

校長

〇〇 〇〇

(公印)

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修1	1	3101	教科指導法研修会	12/27(月)	未定	山梨大	
	2			〇〇年度に 受講予定			
必修2	1	3912	コミュニケーション研修	6/8(火)	終日	総合教育センタ	
	2	3915	道徳性の涵養 I	7/26(月)	午前	都留文科大	
必修3	—	3917	手書きで記入する。	7/28(火)	午後	都留文科大	
必修4	1			〇〇年度に 受講予定			
	2	3107	学び続けることの意義	5/20(木)	午後	総合教育センタ	
	3	3108	危機管理研修会	10/28(木)	午後	総合教育センタ	
必修5	—	701	グローバル化に対応した 指導のあり方研修会	10/28(木)	午前	総合教育センタ	
	代替受講	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修6				〇〇年度に 受講予定			
必修7				〇〇年度に 受講予定			
				〇〇年度に 受講予定			
必修8				〇〇年度に 受講予定			
				〇〇年度に 受講予定			

校長名と年月日を記入し、
公印を押す。実施する年度を手書きで
記入する（原則として対
象となった年度に実施）。所属校における研修
実施予定年度または修了年度

令和5 年度

年度

必修研修計画書

校種	小	所属校名	〇〇市立〇〇小学校		職員番号	0	担当教育 事務所等	中北教育事務所
名簿番号	210001	職名	教諭	氏名	〇〇 〇〇		専門教科	国語

年 月 日

〇〇市立〇〇小学校

校長

〇〇 〇〇

(公印)

分類	枝番	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修 1	1						R4年度に済
	2	3102	地域の教育事情	未定	未定	未定	
必修 2	1						R4年度に済
	2						R3年度に済
必修 3	1						R3年度に済
必修 4	1	3106	中堅教諭としての連携協働	5/20(木)	午後	総合教育センタ	
	2						R3年度に済
	3						R3年度に済
必修 5	1						R3年度に済
	代替受講	研修会番号	研修会名	受講予定日 (受講予定年度)	研修時間	研修会場	受講完了年度
必修 6	○	3906	代替研修会	—	—	—	
必修 7	○	3907	代替研修会			—	
必修 8	○	3908				—	

校長名と年月日を記入し、
公印を押す。すでに受講済の研修には受講完了年
度が記載されている。

必修6-1, 7-1, 8-1に代替申請用の研修会を申し込
んだ場合は、この欄に○が記載されている。
この場合は「免許状更新講習代替申請書」[様式
8]を確認書類の写しを添えて提出する。
※あらかじめ研修会WEB申込システムでの申込
みが必要。

所属校における研修の
実施予定年度または修了年度

令和3年度 修了

所属校における研修テーマの例

(1) 研修題目・事例等

研修分野	研修項目	研修テーマ等
学習指導等に関するもの	教育課程・指導計画について	・学校の教育目標達成に向けたカリキュラム・マネジメント ・多様な児童生徒に対応した指導計画の工夫 ・児童生徒の実態に則した単元構成の工夫
	教材及び学習指導方法等について	・ＩＣＴ機器の有効活用と指導の工夫 ・身近な環境教育の工夫 ・研究授業の実施や参観を通じた指導研究 ・評価の目的と手段の研究 ・児童生徒の実態に合わせた学習指導の研究
	学習評価について	・授業評価による指導の改善 ・児童生徒に適した評価規準と評価方法の改善
	教科の専門的な研究等	・児童生徒に還元できる学術的な研究 ・児童生徒の学習意欲を高める学習材の開発・研究 ・総合的な学習の時間、道徳等に関する指導の研究
生徒指導等に関するもの	児童生徒理解について	・児童生徒に合ったカウンセリング ・教科指導，特別活動等を通しての生徒理解
	生徒指導の方法について	1 集団指導 ・学級・学年集団の効果的指導方法の研究 ・行事等における具体的指導方法の研究 2 個別指導 ・教育相談（進路指導）の進め方 ・生徒の効果的なほめ方・しかり方 3 校外指導の在り方
	事例研究	・問題行動に関する事例研究
	家庭・地域との連携について	・学校における生徒指導体制の在り方 ・教職員の連携の在り方 ・家庭，地域との連携の在り方
	キャリア教育について	・学校におけるキャリア教育の体制 ・教職員の連携の在り方 ・児童生徒の適性や進路等 ・キャリア教育の在り方 ・情報の収集と活用
学級経営等に関するもの	学級経営の工夫	・学級経営案の作成と評価 ・学級組織の作り方 ・学級集団の指導の進め方 ・学年・各係，全職員等との連携
特別活動等に関するもの	特別活動	・地域に合った学級活動，生徒会活動，クラブ活動，部活動，学校行事等の指導計画の立案 ・学級活動，生徒会活動の指導と実際 ・学校行事の指導と実際 ・保健，安全指導の進め方 ・特別活動の反省と評価
	開かれた学校づくり	・学級懇談会や家庭訪問の在り方 ・保護者や地域とのかかわり方 ・関係機関の利用方法 ・学校評価と説明責任について

(2) 実施上の留意点

実際の授業実践を通して，テーマを設定して授業研究を行い，管理職及び同僚等と研究協議を行う。
表に示した項目等からテーマを設定し，授業改善を目的とした教材開発・作成や生徒指導研究等を行い，校内の発表会等の内容を研修報告書（様式４）に記載する。
研修テーマによっては、大学・大学院等で行われる講座を研修と扱うことができる。
養護教諭・栄養教諭については、研修計画書の記入例を参考に実施するものとする。

所属校における研修計画書（教諭）

校種 または 職種	名簿番号
	中 〇〇〇〇〇〇

〇〇 立〇〇 中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇 印
------------	-------	---------

実施 回	予定日	研 修 内 容 等
1	6.〇	中堅研の意義について
2		学級経営の実践発表、基礎学力向上のための実践発表
3		生徒に適した学習評価規準の作成と検討
4		1学期実施した総合的な学習の時間の指導の反省
5		次年度総合的な学習の時間指導案検討
6		拡大校内研修授業発表及び研修会
7		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
8		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
9		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
10		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
11		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
12		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
13		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
14		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
15		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
16		〇〇〇〇〇〇〇〇〇
17		危機管理体制の把握と児童の防災指導の研究
18		2学期に実施した総合的な学習の時間の指導の反省
19		国語科年間指導計画の確認と評価規準の見直しについて
20	1.〇	研修のまとめ

研修全体の目的等

国語科・総合的な学習の時間における、生徒の実態に即した評価規準の作成と支援に結びつく評価方法の検討

生徒の基礎基本を培う学習教材の研究

キャリア教育における、学年に応じた指導方法の検討

所属校校長	公印
市町村（組合）教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書（教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回	予定 日	研 修 内 容 等
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
研修全体の目的等		

所属校校長	公印
市町村（組合）教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書（養護教諭）

校種 または 職種	名簿 番号
養護	〇〇

〇〇立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
----------	-------	-------	---

実施 回数	予定日時	研 修 内 容
1	月〇日() 13:00～17:00	・ 学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と養護教諭」
2	月〇日() 9:00～12:00	・ 教頭による講義 「危機管理と養護教諭」 ・ 教務主任による講義 「教育課程と健康教育」
3	月〇日() 13:00～17:00	・ 近隣学校養護教諭の実践から学ぶ 「保健教育」
4	月〇日() 9:00～17:00	・ 近隣学校養護教諭の実践から学ぶ 「保健室経営」
5	月〇日() 14:00～17:00	・ 所属校での保健指導実践及び研究会
研修全体の目的等 ・ 学校教育活動全体を通して健康教育を推進する方法について学ぶ。 ・ 家庭や地域関係機関との連携の充実について学ぶ。 ・ 児童生徒の健康課題の解決に向けた支援体制の整備について学ぶ。		

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書(養護教諭)

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回数	予定日時	研 修 内 容
1		
2		
3		
4		
5		
研修全体の目的等		

所属校校長	公印
市町村(組合) 教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿 番号
栄養	〇〇

〇〇立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
----------	-------	-------	---

実施 回数	予定日時	研 修 内 容
1	〇月〇日() 13:00～17:00	・学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と栄養教諭」
2	〇月〇日() 9:00～12:00	・教頭による講義 「家庭・地域との連携」 ・教務主任による講義 「教育課程と食に関する指導」
3	〇月〇日() 13:00～17:00	・近隣学校栄養教諭の実践から学ぶ「給食管理」
4	〇月〇日() 9:00～17:00	・近隣学校栄養教諭の実践から学ぶ「食に関する指導」
5	〇月〇日() 14:00～17:00	・所属校での食に関する指導実践及び研究会
研修全体の目的等 ・学校教育活動全体を通して食育を推進する方法について学ぶ。 ・望ましい食習慣の形成のため、家庭との連携の充実について学ぶ。 ・児童生徒の実態に応じたおいしくて安全・安心な学校給食の提供について学ぶ。		

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修計画書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回数	予定日時	研 修 内 容
1		
2		
3		
4		
5		
研修全体の目的等		

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（教諭）

校種 または 職種	名簿番号
中学 国語	23〇〇〇〇

〇〇市立	〇〇〇中学校	対象者氏名	〇 〇 〇 〇 印
------	--------	-------	-----------

[illegible]

所属校における研修報告書（教諭）

※複数枚にわたる場合は、全てに名前欄を付ける

校種 または 職種	名簿番号
中学 国語	23〇〇〇〇

〇〇市立	〇〇〇中学校	対象者氏名	〇 〇 〇 〇 印
------	--------	-------	-----------

[illegible]

〇〇市立〇〇中学校長	〇〇〇 〇〇	公印
〇〇市教育委員会教育長	〇〇 〇〇	公印

所属校における研修報告書（教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回	実 施 内 容	実施日	校長 検印
1			
2	※所属校における研修計画書（様式 3）に基づき実施した内容を報告する。 「実施内容」の欄には、研修毎に作成する所属校における研修記録（様式 1 2）を参考にし、具体的な内容の概要と研修により得られた知見等を記載する。 ※所属校における研修全般で得られた成果を「研修の成果」の欄に記載する。 ※校種については、「小・中・高・特」のいずれかを記入する。 ※所属校長は実施内容を確認し、必要に応じて指導・助言を行い記名、公印を押印する。		
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
1 0			
1 1			
1 2			

所属校における研修報告書（教諭）

※複数枚にわたる場合は、全てに名前欄を付ける

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回	実 施 内 容	実施日	校長 検印
1 3			
1 4			
1 5			
1 6			
1 7			
1 8			
1 9			
2 0			
研修の成果			

所属校校長	公印
市町村（組合）教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（養護教諭）

職種	名簿番号
養護	〇〇〇〇〇〇

〇〇 立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇 印
-----------	-------	---------

実施回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校長 検 印
1	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・ 学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と養護教諭」 「アレルギー疾患対策基本法」の成立や規則改正などの変化に対応し、適切に学校保健活動を実施していきたい。	
2	〇月〇日（ ） 9:00～12:00	・ 教頭による講義 「危機管理と養護教諭」 ・ 教務主任による講義 「教育課程と健康教育」 保護者対応の際の注意事項などについてのお話が参考になった。	
3	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・ 〇〇学校□□養護教諭による指導 「保健教育」 保健指導計画立案への関わり方や、学級担任と連携した保健指導の実践を知ることができた。本校でも積極的に取り入れていきたい。	
4	〇月〇日（ ） 9:00～17:00	・ 〇〇学校□□養護教諭による指導 「保健室経営」 保健室経営の工夫を指導していただいた。また、保健室経営計画における具体的な方策の取組を学ぶことができた。	
5	〇月〇日（ ） 14:00～17:00	・ 所属校での保健指導等実践及び研究会〇年〇組の特別活動において、「歯の健康」をテーマに保健指導を実施した。 個々の児童が健康課題を解決する方法を自己決定し、実践できるように意識して指導案を作成した。	

研修の成果

- ・ 養護教諭としての役割を改めて学び、保健管理と保健教育の充実に努めた。
- ・ 近隣学校の先生方の実践から、児童生徒の健康課題の解決を目指した指導計画立案について学び、自分の実践にも生かすことができた。
- ・ 教育活動全体で健康教育を推進するために、校内の多くの先生方と積極的に連携を図った。

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（養護教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校 長 検 印
1			
2			
3			
4			
5			
研修の成果			

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿 番号
栄養	〇〇

〇〇 立〇〇中学校	対象者氏名	〇〇 〇〇	印
-----------	-------	-------	---

実施 回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校 長 検 印
1	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・学校長による講義 「学校教育目標の具現化に向けて」 「教育法規と栄養教諭」 学校教育目標、目指す児童生徒像などを常に意識する中で、栄養教諭として適切な役割を果たしていきたい。	
2	〇月〇日（ ） 9:00～12:00	・教頭による講義 「家庭・地域との連携」・教務主任による講義 「教育課程と食に関する指導」保護者や地域の方々との連携の方法についての具体的なお話が参考になった。	
3	〇月〇日（ ） 13:00～17:00	・〇〇学校の□□栄養教諭による指導「給食管理」 食物アレルギー対応に関わって、校内の体制、保護者への連絡方法、調理場での対応など、組織的な対応について学ぶことができた。	
4	〇月〇日（ ） 9:00～17:00	・〇〇学校の□□栄養教諭による指導「食に関する指導」 〇〇学校の地域と連携した食に関する指導の実践例を学ぶことができた。 本校でも積極的に取り入れていきたい。	
5	〇月〇日（ ） 14:00～17:00	・所属校での食に関する指導実践及び研究会〇年〇組の学級活動の授業において、「朝食の大切さ」をテーマに食に関する指導を実施した。 指導案作成にあたっては、日常生活で実践に結び付くよう、家庭との連携についても意識した。	

研修の成果

- ・栄養教諭としての役割を改めて学び、給食管理と食に関する指導の充実に努めた。
- ・近隣学校の先生方の実践から、子供の実態に応じた給食管理の方法と給食を教材とした指導の充実にについて学び、自分の実践にも生かすことができた。
- ・教育活動全体で食育を推進するために、校内の多くの先生方と積極的に連携を図った。

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

所属校における研修報告書（栄養教諭）

校種 または 職種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

実施 回数	実施日時	研修内容・感想・所感	校 長 検 印
1			
2			
3			
4			
5			
研修の成果			

所属校校長	公印
市町村（組合） 教育委員会教育長	公印

評価票の作成要領

1 評価の手順

【前年度 3 月】

- (1) 対象者は、前年度の 3 月に、「やまなし教員等育成指標」に基づいて自己評価を行い、評価票（様式 5）に記載し、所属校の校長に提出する。
- (2) 所属校長は対象者の自己評価を参考にし、「やまなし教員等育成指標」に基づいて対象者の評価を評価票（様式 5）に記載し、コピーを手元に残し、原本を山梨県教育委員会（山梨県総合教育センター）に提出する。人事異動によって対象者の所属校が変わった場合は、前任校の校長が異動先の校長へ評価票のコピーを送付する。

【研修実施年度 3 月】

- (3) 対象者は、研修実施年度の 3 月に、再度自己評価を行い、評価票（様式 5）を所属校長に提出する。尚、中堅研修が未修了であり次年度も対象者となる場合は、この評価は上記(1)における次年度のための評価を兼ねるものとする。
- (4) 所属校長は、(3)における自己評価を参考にし、対象者の評価を評価票（様式 5）に記載し、山梨県教育委員会（山梨県総合教育センター）に提出する。
- (5) 上記の評価票（様式 5）の作成は、中堅研修が修了するまで毎年度行うものとする。
- (6) 上記(4)において、中堅研修が修了（必修研修及び所属校研修の両方が修了）する場合、所属校長は、必修研修及び所属校における研修の修了を確認し、修了確認者欄に押印して提出するものとする。
- (7) 上記(2)(4)(6)において、市町村（組合）立学校にあっては、所管の教育委員会を経由して山梨県総合教育センターに提出する。提出期限は、別に指示する。
- (8) 評価基準日に対象者が育児休業等を取得中の場合は、評価欄に「－」を記入し、特記事項欄に育児休業の期間を記載して提出する。

2 評価基準

評価については、「やまなし教員等育成指標」に基づいて、AからDまでの4段階で行うこととし、自己評価及び管理職評価の基準は以下のとおりとする。

(1) 自己評価基準

- | | |
|---|---------------------------|
| A | このような行動を頻繁に行っている。（8割以上） |
| B | このような行動を行っている。（5～8割未満） |
| C | このような行動を時々行っている。（2～5割未満） |
| D | このような行動をほとんど行っていない。（2割未満） |
| － | 育児休業等取得中のため評価が困難である。 |

(2) 管理職評価基準（Bを標準とする）

- | | |
|---|----------------------|
| A | 優秀なレベルで発揮している。 |
| B | おおむね満足のいくレベルで発揮している。 |
| C | やや努力を要するレベルである。 |
| D | 努力を要するレベルである。 |
| － | 育児休業等取得中のため評価が困難である。 |

3 その他

- ・評価が困難な場合は、山梨県総合教育センター研修指導課と別途協議する。
- ・評価票の学校長・市町村教委教育長の印は「私印」とする。

参考：やまなし教員等育成指標一覧表（第2ステージ）

目指す教員像			山梨県の教員として必要な素養
○豊かな人間性と幅広い視野を持った教員			○豊かな人間性と人権意識を備え、優れたコミュニケーション能力を有している。
○教育に対する情熱と使命感がある教員			○教育公務員としての崇高な使命感と責任感を持ち、情熱を持って教育にあたることができる。
○児童生徒や保護者に信頼される教員			○高い倫理観を持ち、勤務の内外において法令及び服務規律を遵守することができる。
○幅広い教養と専門的な知識・技能を持った教員			○各教科等の専門的知識を持ち、時代の変化に対応し自らの資質能力を向上させるため常に学び続けようとしている。
○生涯にわたって主体的に学び続ける教員			○児童生徒一人一人に愛情を持ち、未来の山梨を担う人材を育成している。
教職としての専門性	※学習指導	授業計画	児童生徒の実態に応じて、教科等の専門性を生かした指導計画を立てている。
		授業実践	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、学習者中心の授業を実践している。
		授業評価・改善	適切な評価を行うとともに、学習者中心の授業に向けた改善に取り組んでいる。
	生徒指導	学級経営	集団の課題に対し、同僚と協働し解決を図り、児童生徒の可能性を引き出す集団づくりを行っている。
		児童生徒理解	同僚と協働し、児童生徒の理解を深め、自己肯定感や自己有用感の向上を図っている。
		道徳教育	道徳性の高まりや変容を適切に見取り、同僚と共有し、指導に生かしている。
		人権教育	多様性を受容し、豊かな人間関係を築くための人権教育を同僚と協働し推進している。
		特別支援教育	特別支援教育の専門性を高め、同僚と協働し効果的な指導をしている。
		いじめ等への対応	いじめ等問題行動の未然防止や解決に向けた対処法を身に付け、協働して対応している。
		キャリア教育	児童生徒が自分らしい生き方を実現する力を、同僚と協働し育成している。
	学校運営	教育課程	自校の教育目標達成に向け、カリキュラム・マネジメントに基づき、教育課程を編成・実施している。
		連携・協働	ミドルリーダーとして同僚と協働し、積極的に学校運営に参画している。関係機関と連携・協働し、課題解決に向け取り組んでいる。
		学校安全	学校安全計画や危機管理マニュアル等に基づいた取組を推進し、その改善に努めている。
		働き方改革・業務改善	働き方改革の視点を持ち、校務に積極的に参画し、学校運営の持続的な改善を支えている。
	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		児童生徒の個々の状況や背景を分析し、スクール・カウンセラー等と連携・協働し、適切な支援をしている。
	ICTや情報・教育データの利活用		ICTを効果的に活用するとともに、情報・教育データを適切に利活用し、校務の効率化及び児童生徒の学習等の改善を図っている。
	研 修		研修内容や成果を同僚と共有し、自校の教育活動全体に生かしている。
養護教諭としての専門性	保健管理		家庭や地域の医療機関等との連携体制づくりを推進している。
	保健教育		児童生徒の健康課題解決をめざした指導計画立案に関わり、実践している。
	健康相談		いじめや虐待を含む課題の早期発見に努め、解決のための支援体制を整備している。
	保健室経営		保健室経営計画を教職員に周知し、校内の組織運営に積極的に役割を果たそうとしている。
	保健組織活動		校内の保健組織活動を主体的にすすめられるよう内容の工夫と、学校医等との連携体制を整備している。
栄養教諭としての専門性	栄養管理		児童生徒の実態や学校・地域の特色に応じた献立を作成し、施設に合わせた調理指導をしている。
	衛生管理		給食施設や学校の課題を的確に捉え、調理から喫食までの衛生管理について指導・助言をしている。
	個に応じた対応・指導		児童生徒の健康状況に応じて、教職員や保護者と連携して対応・指導を行っている。
	食に関する指導	指導計画の立案と推進	指導計画の立案に中心的な役割を果たし、食育を推進している。
		学校給食の活用	給食時の指導計画を示し、学校給食の教材化を図っている。
		教科等における指導	教職員と連携して、教科等での食に関する指導の内容、評価の計画作成を行っている。

教職としての専門性について※の項目は養護教諭及び栄養教諭の指標から除く。

評価票（教諭）

校種	小学校	所属校名	御坂成田小学校		職員番号	00123456
名簿番号	230999	職名	教諭	氏名	成田 太郎	
研修開始	R5. 4. 1	研修終了期限	R10. 3. 31	評価基準日	R5. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教職としての素養	人権意識・コミュニケーション能力・使命感・責任感・情熱・倫理観・規律遵守・教育的愛情・意欲・研究能力	B	A
学習指導	授業計画	B	B
	授業実践	B	B
	授業評価・改善	B	B
生徒指導	学級経営	B	B
	児童生徒理解	B	B
	道徳教育	C	B
	人権教育	C	B
	特別支援教育	C	C
	いじめ等への対応	B	B
	キャリア教育	C	C
学校運営	教育課程	B	B
	連携・協働	B	B
	学校安全	C	B
	働き方改革・業務改善	C	C
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		B	B
ICTや情報・教育データの活用		C	B
研 修		A	A

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	なし
------------------------------------	----

評価者	所属校	御坂成田小学校	校長	育成 花子	私印
	市町村（組合） 教育委員会	上記の通り認める	総合教育市 教育委員会 教育長	教育 太郎	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修（必修研修及び所属校における研修）を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	御坂成田小学校	私印
	市町村（組合） 教育委員会	教育委員会 教育長	私印

すべての研修が終了したら、修了確認を忘れず
をお願いします

評価票（教諭）

校種	小学校	所属校名	御坂成田小学校		職員番号	00123450
名簿番号	210999	職名	教諭	氏名	成田 花子	
研修開始	R3. 4. 1	研修終了期限	R8. 3. 31	評価基準日	R5. 3. 1	

記入注意

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教職としての素養	人権意識・コミュニケーション能力・使命感・責任感・情熱・倫理観・規律遵守・教育的愛情・意欲・研究能力	—	—
学習指導	授業計画	—	—
	授業実践	—	—
	授業評価	—	—
生徒指導	学級経営	—	—
	児童生活	—	—
	道徳教育	—	—
	人権教育	—	—
	特別支援	—	—
	いじめ防止	—	—
	キャリア教育	—	—
学校運営	教育課程	—	—
	連携・協働	—	—
	学校安全	—	—
	働き方改革・業	—	—
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応		—	—
ICTや情報・教育データの利活用		—	—
研 修		—	—

年度内に勤務実績がない場合は
評価は行わず「—」を記入してください

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	例：育児休業中のためR3研修受講せず 育休予定期間：R3. 10. 10～R5. 3. 31
------------------------------------	---

評価者	所属校	御坂成田小学校	校長	育成 花子	私印
	市町村（組合） 教育委員会	上記の通り認める	総合教育市	教育委員会	教育長

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修（必修研修及び所属校における研修）を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	学校	校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	教育委員会	教育長	私印

評価票（教諭）

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始		研修終了期限		評価基準日	R5. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教職としての素養	人権意識・コミュニケーション能力・使命感・責任感・情熱・倫理観・規律遵守・教育的愛情・意欲・研究能力		
学習指導	授業計画		
	授業実践		
	授業評価・改善		
生徒指導	学級経営		
	児童生徒理解		
	道徳教育		
	人権教育		
	特別支援教育		
	いじめ等への対応		
	キャリア教育		
学校運営	教育課程		
	連携・協働		
	学校安全		
	働き方改革・業務改善		
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応			
ICTや情報・教育データの利活用			
研 修			

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修（必修研修及び所属校における研修）を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票（養護教諭）

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始		研修修了期限		評価基準日	R5. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価
教職としての素養	人権意識・コミュニケーション能力・使命感・責任感・情熱・倫理観・規律遵守・教育的愛情・意欲・研究能力		
生徒指導	学級経営		
	児童生徒理解		
	道德教育		
	人権教育		
	特別支援教育		
	いじめ等への対応		
	キャリア教育		
学校運営	教育課程		
	連携・協働		
	学校安全		
	働き方改革・業務改善		
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応			
ICTや情報・教育データの利活用			
研 修			
養護教諭としての専門性	保健管理		
	保健教育		
	健康相談		
	保健室経営		
	保健組織活動		

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修（必修研修及び所属校における研修）を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	教育委員会 教育長	私印

評価票（栄養教諭）

校種		所属校名			職員番号	
名簿番号		職名	教諭	氏名		
研修開始		研修修了期限		評価基準日	R5. 3. 1	

やまなし教員等育成指標の分野		自己評価	管理職評価	
教職としての素養	人権意識・コミュニケーション能力・使命感・責任感・情熱・倫理観・規律遵守・教育的愛情・意欲・研究能力			
生徒指導	学級経営			
	児童生徒理解			
	道徳教育			
	人権教育			
	特別支援教育			
	いじめ等への対応			
	キャリア教育			
学校運営	教育課程			
	連携・協働			
	学校安全			
	働き方改革・業務改善			
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応				
ICTや情報・教育データの利活用				
研 修				
栄養教諭としての専門性	栄養管理			
	衛生管理			
	個に応じた対応・指導			
	食に関する指導	指導計画の立案と推進		
		学校給食の活用		
		教科等における指導		

特記事項 (育児休業等取得中の場合は、その期間を記入すること)	
------------------------------------	--

評価者	所属校	学校 校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	上記の通り認める 教育委員会 教育長	私印

上記の者は、中堅教諭等資質向上研修（必修研修及び所属校における研修）を修了したことを確認しました。

修了 確認者	所属校	学校 校長	私印
	市町村（組合） 教育委員会	教育委員会 教育長	私印

対象者追加申請書 記入例 (様式6)

〇〇〇 発 〇〇〇 番

令和 〇 年 3 月 〇 日

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇 〇 〇 〇 公印

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (追加申請)

- 1 対象者追加申請者 教諭 〇〇 〇〇
生 年 月 日 昭和〇〇年〇月〇〇日
山梨県採用年月日 平成〇〇年4月

2 追加申請の理由

1 に示す者は教員としての職歴が次の通りであり、実施要項別表(2)に該当する。

- ① 〇〇県公立中学校教諭として平成〇〇年4月～平成〇〇年3月 (3年間)
② 山梨県公立中学校教諭として平成□□年4月～令和◎年3月 (7年間)
①・②の在職期間の合計が10年

以上

担当者名
連絡先

対象者追加申請書 様式 (様式6)

〇〇〇 発 〇〇〇 番

令和 〇 年 3 月 〇 日

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇 〇 〇 〇 公印

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について（追加申請）

- 1 対象者追加申請者 職・氏名
生 年 月 日 〇〇 〇年 〇月 〇日
山梨県採用年月日 〇〇 〇年 4 月
- 2 追加申請の理由

※対象者追加の理由例については、実施要項「別表対象者へ追加する者の基準」に則り、該当する事実を所属校長が確認し、実施細則7－（1）に則って具体的に記載すること。

担当者名
連絡先

山梨県総合教育センター所長 殿

【記入例】

- ・ 対象となった年度から5年間で産休及び育休で休業した場合の事情説明書。
- ・ 対象期間が平成31年4月1日～令和6年3月31日のときは、令和5年6月に提出することとなる。

〇〇立〇〇〇〇学校

校長 〇〇〇〇

(公印省略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (事情説明)

- 1 対象者 教諭 〇〇 〇〇
- 2 内容 対象最終年度での必修研修及び所属校における研修の修了が見込めない
- 3 理由 産休及び育休の取得のため

ア. 産休・育休等の期間

- ・ 第1子出産のため、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで産休
- ・ 令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで育児休業
- ・ 第2子出産のため、令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで産休
- ・ 令和〇年〇月〇日から令和6年3月31日まで育児休業の予定

イ. 採用年月日 平成21年4月1日

ウ. 対象となった年月日 平成31年4月1日

エ. 対象期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日

オ. その他

- ・ 令和6年3月31日まで育児休業を取得予定のため、必修研修は令和6年度以降に受講予定。
- ・ 所属校研修においては、令和6年度に実施予定。

担当者名
連絡先

事情説明書 様式 (様式 7)

〇〇〇 発 〇〇〇 番

令和 〇 年 〇 月 〇 日

山梨県総合教育センター所長 殿

〇〇立〇〇〇〇学校

校 長 〇 〇 〇 〇

(公 印 省 略)

令和〇〇年度中堅教諭等資質向上研修の対象者について (事情説明)

1 対象者 職・氏名

2 内容

3 理由

内容については

- ・対象期間での必修研修の未完了 (見込) 等
- ・対象期間での所属校研修の未完了 (見込) 等

理由については、以下の点を含めて詳細に明記すること。

ア. 産休・育休等についてはその期間 (年月日)

イ. 採用年月日

ウ. 対象となった年月日

エ. 対象期間 (中堅研を受けるべき 5 年間)

オ. その他、必要な事項

担当者名
連絡先

免許状更新講習代替申請書

年 月 日

山梨県総合教育センター所長 殿

山梨県公立学校中堅教諭等資質向上研修実施細則 5 - (1) に則って、以下のとおり必修研修の代替を申請いたします。

校 種		職員 番号		名簿 番号	
所属 校名		氏 名			

代替する 必修研修	必修 6	必修 7	必修 8
代替申請を する場合は○			
対応する 免許更新講習	必修領域	選択必修領域 旧必修領域	選択領域

上記申請に必要な教員免許状更新講習の受講を確認しました。

年 月 日 学校名

校長名

(公印)

※ 教員免許状更新講習の修了が確認できる書類を添付してください。

必修研修免除申請書

年 月 日

山梨県総合教育センター所長 殿

山梨県公立学校中堅教諭等資質向上研修実施細則 5－（2）に則って、以下のとおり必修研修の免除を申請いたします。

校 種		職員 番号		名簿 番号	
所属 校名		氏 名			

免除申請する 必修研修の 科目及び番号	免除の理由 (別表に則る場合は別表番号とその内容を記入)

上記申請に必要な研修の受講等を確認しました。	
年 月 日	学校名
校長名	(公印)

※ 内容の確認に必要な書類を添付してください。

必修研修免除申請書（様式9）の作成について

（記入例）

校 種	小	職員 番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	名簿 番号	〇〇〇〇〇〇
所属 校名	〇〇小学校		氏 名	〇〇 〇〇	

免除申請する 必修研修の 科目及び番号	免除の理由 (実施細則・別表に則る場合は別表番号とその内容を記入)
必修2～7の 全て	実施細則・別表番号1:教職員等中央研修「中堅教員研修」の受講 受講期間:令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日
必修8－1	実施細則・別表番号35:山梨県教育委員会教育職員免許法認定講習 (小学校教員講習)「教科及び教科の指導法に関する科目」1単位 単位取得:令和〇〇年〇〇月〇〇日 山梨大学 科目名:「情報教育とICTの授業における活用」

1 書類の作成・提出の手順

① 免除の対象となる必修研修は申し込まず、様式2に免除申請予定であることを記述する。

① 免除を申請する対象者は申請書に必要事項を記載し、内容の確認に必要な書類を添えて所属校長に提出する。

② 所属校長は、申請書の記載に相違がない事を確認の上、公印を押印し、内容の確認に必要な書類を添えて提出する。（提出締切日は6月中旬。詳しくは実施手順参照。）

提出先 小・中学校 → 市町村（組合）教委 → 山梨県総合教育センター
高校・特支 → 山梨県総合教育センター

2 内容の確認に必要な書類について

免除の理由の内容確認は以下の書類の提出をもって行う。

① 研修の受講及び協議会への参加の場合

主催者からの派遣依頼、山梨県教育委員会からの決定通知、研修の修了証書等、本人の受講が確認できる書類。

② 公開授業での実践等の場合

実施要項、作成した学習指導案、研究協議の記録等、本人の授業実践が確認できる書類。

③ 別表「必修研修免除対象研修等一覧」にある教育職員免許法認定講習の受講の場合
教育委員会が発行した単位修得証明書。

④ 専修免許状取得による免除を申請する場合（実施細則5－（2）－ア）

免除となる必修研修等は、別途問い合わせることとする。

(様式10)

〇〇〇発〇〇〇番

〇〇年〇月〇〇日

山梨県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

職印

中堅教諭等資質向上研修 必修研修不参加届

このことについて、本校 職名（ ） 氏名（ ）は、

下記研修会に

1 参加できません

2 遅刻します

3 早退します

※1～3のいずれかに○印を付ける。

校種または 職種		名簿番号		職員番号	
研修会番号		研修会名	研修会		
研修会実施年月日		年 月 日 ()			
事 由					

所属校における研修記録

- 1 研修対象者 所属 職・氏名
- 2 実施日時 ○○年○月○日（○曜日） ○時○○分～○時○○分
- 3 研修内容 ○○○について
- 4 指導者 職・氏名
- 5 実施方法・実施内容
- 6 使用した資料等の添付

- ☐ この記録は年度末の本人及び管理職の事後評価および、実施校における次年度等の研修指導の参考のために作成するものとする。（県教委への提出は不要。）研修内容の県教委等への報告については別紙・所属校における研修報告書〔様式4〕を作成し、提出するものとする。
- ☐ 総合教育センター等における必修研修の受講記録は、別途その様式に従うものとする。
- ☐ この記録は、コピーを1部作成し、原本を本人が保管し、コピーは実施から5年間実施校にて保管しておくものとする。

(様式 13)

〇〇発 〇〇号
令和 年 月 日

(研修依頼先所属長) 殿

中堅研修対象者所属校長 (公印)

令和〇年度中堅教諭等資質向上研修 他校種授業研究研修会について (依頼)

このことについて、令和〇年〇月〇日に行われる貴校研修会を中堅教諭等資質向上研修必修 1-2 研修会として本校教諭〇〇 〇〇が研修いたします。

つきましては、貴職をはじめ関係の方々から御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 研修の日時及び期間

年 月 日 時 分 から 時 分まで

2 研修内容

※参観授業 (学年・担当教員等) 及び研究協議等、具体的な研修内容を記入すること。

3 その他

研修に際し用意するもの等ありましたらご指示ください。

※本書式例は、研修を依頼する際に必要に応じて研修先の学校に送付してください。

中堅研対象者 学校名・氏名

電 話

F a x

E-mail

提出期限 8 月末日

(様式 1 4 記入例)

必修 1-2

他校種授業研究研修会研修計画書

他校種で研修する場合

校種	名簿番号
高校・数学	230000

山梨県立 ○○高等学校	対象者氏名	○○ ○○	印
-------------	-------	-------	---

必修研修計画書(様式2)に記載されています。

研 修 日 時	研修実施校等
令和○年 7 月 ○ 日 (○) 14:20～16:30	○○市立○○小学校
研修内容 (※授業参観及び研究会等が含まれていること) 13:50～14:35 授業参観 (4 年生 算数) 14:55～16:55 校内研究会 ・ 授業者より ・ 質疑 ・ 研究協議 (グループ) ・ 発表 (グループ毎) ・ 指導・助言 (指導主事より) (詳細は別途資料の通り)	

・ 研修実施校が示している研修内容
記入する。
・ 要項等資料がある場合は写しを添付する。
・ 授業参観のみは不可です。

上記の他校種授業参観研修会の計画について確認しました

研修日より前に確認してください。

令和○年 6 月 ○ 日

私印可

山梨県立○○高等学校 校長 ○○ ○○ 印

必修 1-2

他校種授業研究研修会研修計画書

総合教育センターで研修する場合

校種	名簿番号
高校・数学	230000

山梨県立 ○○高等学校	対象者氏名	○○ ○○	印
-------------	-------	-------	---

必修研修計画書(様式2)に記載されています。

研 修 日 時	研修実施校等
令和○年 2 月	山梨県総合教育センター
研修内容 総合教育センター研究大会 研究大会の全ての行事(研究大会の全ての行事に参加、内容の詳細は実施要項で確認し、発表、協議は他校種のグループに参加すること)	

上記の他校種授業参観研修会の計画について確認しました

研修日より前に確認してください。

令和○年 6 月 ○日

私印可

山梨県立○○高等学校 校長 ○○ ○○ 印

(様式 14)

他校種授業研究研修会研修計画書

校種	名簿番号

立	学校	対象者氏名	印
---	----	-------	---

研修日時	研修実施校
研修内容（※授業参観及び研究会等が含まれていること）	

令和 年 月 日

立 学校 校長 印

問い合わせ先

山梨県総合教育センター学校教育支援部研修指導課

T E L 055(262)5871 F A X 055(262)5572

E-mail chukenken@kai.ed.jp